

リーダーに期待すること

～生徒会年間テーマ(前進)実現に向けて実践の一考察～

1 リーダーとしての責任

(1) 旅の目的地

何をどのように前進させてどこまで行くのかを具体的に示す。

(2) 旅の行程・方法

目的地へ行くのは、どの道をどのように進んでいくのかを示す。

(3) 旅に出る理由

みんなに目的地に行きたいと思わせることができる。

2 手段と目的を区別

(1) 学校を良くする・発展させることは目的ではなく手段。目的は、あくまでも鹿北中生の成長であり自立。

(2) 学校を「前進」させることは手段。学校を「前進」させることで、みんなが何を獲得したいのか、みんながどう変容したいのかが目的。この目的を明らかにする。

(3) テーマとコンセプトに合った活動を創造し実践する。

活動・実践を通して何を獲得するのか、どう成長するのか → 生徒会活動の本質

3 テーマとコンセプトを意識した実践・取組

(1) テーマ・・・活動や創造において基盤となる考え。根底に流れる主題

(2) コンセプト・・・テーマを生かすため、実現するための発想や観点。

生徒会活動で言えば、生徒会年間テーマ(前進)に基づいた活動を通して、どんな力をつけたいのか、どんなことを体感したいのかが大切

たとえば、

東京ディズニーシー

(1) テーマ

世界に一つだけの海

(2) コンセプト

海にまつわる物語や伝説を題材にした冒険とロマンス、発見と楽しさにあふれる世界

(3) 活動・実践

様々なアトラクション・イベント・パレード

(4) 結果

来場者に夢と希望と感動

社会への貢献

4 思考・創造のヒント

一人一人の学力向上

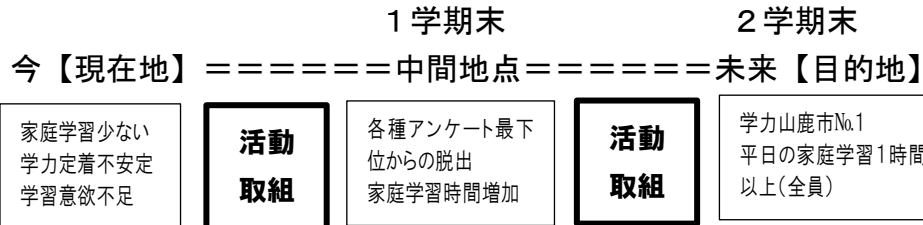
(1) テーマ

山鹿市内学力No.1の学校へと前進

(2) コンセプト

一人一人が学ぶ楽しさを実感し、自立した学習者に成長

(3) 活動・実践



(4) 結果・成長

山鹿市内学力No.1 → 一人一人の学力向上

活動を通して目的地に近づく。目的地に近づきながら学力が向上する。

生き方の基礎基本の獲得

(1) テーマ

学校の風土・空気（きついけど頑張る）をさらに高く

(2) コンセプト

訪問者が学校の空気（風土）を体感することで、元気になる鹿北中

(3) 活動・実践

あいさつ、笑顔、反応など

(4) 結果・成長

社会で通用するコミュニケーション力を身に着ける。

5 信頼されるリーダー

有言実行

言ったことは必ず実行する

言行一致

口で言ったことと、実際に行うことが食い違わないこと